

生活指導部だより No. 3

令和4年 12月22日
都立品川特別支援学校長
松井 栄人
担当：生活指導主任
赤荻 浩之

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
冬休みは、明日配布される「冬休みの生活について」のプリントをお読みいただき、健康管理と安全に十分御留意いただければと思います。

2 学期の取り組み トピックス

○11月避難訓練の様子（爆破予告を想定、非常口からの校舎外への避難）

学校に爆破予告電話が入ったことを想定し、ヘルメットをかぶり、緊急に普段使わない非常ドアから校舎外通路に出て移動する訓練を行いました。訓練後、今回は中学部2年生が多目的ホールに残り、品川警察署警備係長さんのお話を聞きました。「皆さん、落ち着いて先生の指示を聞いて、静かに避難できました。今後も【お・か・し・も※1】、【い・か・の・お・す・し※2】を忘れずに行動してください。」とのお話がありました。

※1 「おさない・かけない・しゃべらない
もどらない」

※2 「いかない・のらない・おおごえをあげる
・すぐにげる・しらせる」



○小学部5・6年「セーフティ教室」（講師：品川警察署スクールサポーター）



12月15日(木)に実施しました。

内容は、「連れ去り防止」を学ぶためのDVD視聴とロールプレイをしました。

スクールサポーターさんと児童代表によるロールプレイでは、学んだことを生かして、拒否をしたり、嫌がったりして、不審者に連れていかれないよう頑張って実践できました。

【裏面もあります】

【 子どもたちを守れ！ ドキュメント不審者対応訓練 】

10月7日(金)9:33分、巧みに宅配業者を装い不審者(警察官が扮装)が校内に侵入。

緊急放送が流れました。「止まりなさい!!」さす股を持ち対応する教員4名(市野、城取、渡邊慶、赤荻)。「お前らに興味ねえんだよ!!」制止を振り切り、怒声とともに1階教室ドアをたたいて回る不審者。教室では、各担任が緊急放送(不審者侵入の暗号放送)を聞き、施錠・バリケード・消灯で児童・生徒の安全を確保しています。不審者は、黄色階段から3階中学部教室に駆け上がります。追いかける教員とトランシーバーを持った小滝副校長。(トランシーバーで校長室本部に不審者の位置を伝え、暗号で全校に不審者位置を知らせます。)3階教室のドアをこじ開けようとする不審者を教員が取り囲むと、ナイフを取り出し威嚇する不審者。(通常は「学校110番通報」後、3分程でパトカー等が大挙到着します。さす股研修では、凶器を持った不審者には、間合いを取り警察官到着まで持ちこたえることを学びました。)

しかし!!これが訓練・・・市野教諭、城取教諭が、さす股で押さえに前に出ました。「使う時には、躊躇なく」、研修で学んだとおり、タイミングを逃さず「行け!押さえろ!」4人で不審者を床に倒しにかかります。市野教諭は、不審者の膝関節の裏(膝カクン)を狙い、渡邊主幹教諭は床に倒れた不審者の手からナイフを蹴り飛ばしました。抵抗する不審者でしたが、最後は4人の教員が折り重なるように押さえつけました。「訓練ヤメ!」品川警察署防犯係長さんの落ち着いた合図で訓練終了となりました。

【 品川警察署防犯係長さんの講評・アドバイス 】

- これだけ実践的訓練をする品川特別支援学校は頼もしい。不審者と対峙すると、どうしても興奮して前に出てしまうので、冷静に。さす股は、最初は警官でも扱いが難しいので間合いは取ること。
- 凶器を取り上げても1個とは限らない。別の凶器を隠している可能性もある。気を抜かず不審者の動きに注意し、全体を見渡して指示する教員がいるとよい。
- 不審者が油をまき、火をつけた時にも備えて、消火器の位置を知っておくこと。

【 不審者役警察官の感想 】

- 本気でやったので声が枯れました。先生たちの気合を感じた。押さえられたお尻がまだ痛いです。(笑)

今回の訓練では、廊下での騒ぎの音で怖くなり、泣いてしまった中学部の生徒もいました。しかし、この緊張感もまた訓練です。「子供たちを絶対を守る」という気迫と教員に被害を出さないための警察の助言を活かし、非常時にはチーム力で対応できるよう今後も備えていきたいと思います。

